

**玉野市書かない窓口支援システム構築・運用保守業務の委託に係る  
公募型プロポーザル審査基準**

審査項目		評価の観点	配点
審査員評価	提案システム	【基本方針】 本業務の趣旨や目的を適切に把握し、理解したうえで、提案者の基本方針等が明確かつ適切に示されているか。	120
		【提案システムの概要】 システムのコンセプト、特長、アピールポイントが具体的に示され、利用者（市民、職員）に配慮された使いやすく、分かりやすいシステムとなっているか。	
		【利便性】 来庁者の利便性向上につながる提案となっているか。	
		【業務効率化】 窓口職員の業務効率化につながる提案となっているか。	
		【操作性等】 システムの画面構成や操作方法は、職員が円滑に業務できるように配慮されたシンプルで分かりやすいものとなっているか。	
		【汎用性等】 システムの汎用性は高いか。また、継続的な機能向上が見込めるか。	
	システム構成	【システム全体像】 ・ネットワーク及びシステム構成が示されているか。 ・本市で対応が必要な内容が示されているか。 ・必要な機器が示されており設置イメージが具体的か。	60
		【セキュリティ対策】 ・データが安全かつ適切に管理できているか。 ・個人情報保護に係る対策、取組を行っているか。 ・不正アクセス等への対策、対応が具体的に示されているか。	
		【テスト環境・データ関係】 ・基幹系業務システムなど本番環境への影響がない形でテスト環境が提供されるか。 ・データ連携について具体的に示されており、市民・本市職員の負荷軽減になるか。 ・データ連携の際の各システムベンダーとの調整方法が明確で本市職員の負担軽減になるか。	
	実施体制	【プロジェクト管理】 仕様書にある業務内容を円滑かつ効果的・効率的に遂行する進捗管理方法となっているか。	120
		【実施体制】 ・本業務を実施するための人員、体制は十分か。 ・主担当者及び補助者の経歴・実績は十分にあるか。	
		【スケジュール】 ・運用開始までのスケジュールが具体的に示されているか。 ・各工程における作業内容が具体的に示されており、本市職員の負担が軽減される役割分担になっているか。	
		【研修】 ・マニュアルが運用を見据えたものとなっているか。 ・研修計画が適切なものとなっているか。	
		【業務フロー支援】 他自治体の先進事例等の知見や業務改善の視点をもとに、本市窓口における手続・業務フローの検討に対する助言等の支援が十分見込めるか。	

審査項目		評価の観点	配点
審査員評価	運用保守・職員サポート	【運用保守体制】 仕様書を満たしており、運用保守を実施するためのサポート拠点、人員、体制が具体的に示されているか。	80
		【運用保守サポート内容】 運用開始後のサポート内容が具体的に示されており、本市職員の負担軽減となるか。	
		【障害対応】 障害発生時の役割分担、復旧までの具体的な内容を示されているか。	
	拡張性・独自提案	【追加提案】 本市の取り組みを踏まえ、市民及び本市職員の業務支援や利便性の向上が期待できるか。	20
詳細要件評価		<p>仕様に定めた機能を有しているかどうか。 ※書かない窓口支援システム要件一覧（様式第5号）の内容を評価点に換算</p> <p>■対応区分毎の注意点</p> <p>必須 ⇒ 対応状況が○であれば3点、×は失格。 準必須 ⇒ 対応状況が○であれば5点、▲は3点。 対応状況が×は失格。 推奨 ⇒ 対応可否が○であれば10点、▲は5点、×は0点。 ただし、対応区分が必須・準必須で対応状況が「×」であっても、本市導入（令和8年9月24日）までに同機能を構築・リリースできる場合は、本項目のみをもって失格とはしないため、備考欄へその旨記載すること。この場合は、対応状況が○として換算する。推奨については対応状況が「×」であっても失格とはならないが、本市導入（令和8年9月24日）までに同機能を構築・リリースできる場合は、対応状況が○として換算する。</p>	240
価格評価		<p>費目毎に「配点×（最低提案見積額÷提案見積額）」により小数点第2位まで算出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構築費に係る価格評価点</li> <li>・周辺機器導入費に係る価格評価点</li> <li>・運用・保守費に係る価格評価点</li> </ul>	80 80 200
合 計			1,000

#### ■最優秀提案者の選定

- ・審査は、審査委員会において審査委員1人当たりが100点満点×50.0%で評価し、審査委員8人の合計点（400点満点）に詳細要件評価点（240点）及び価格評価点（360点満点）を加えた合計点（1,000点満点）の最上位の提案者を最優秀提案者に選定する。
- ・最高評価点を得た者が複数の場合は、提案価格の総額が安い提案者を最優秀提案者とする。提案価格の総額が同じ場合は、価格要件の得点の計が高い者とする。
- ・最高評価点を得た者の得点が、評価配点合計（1,000点）の6割（600点）に満たない場合にあっては、候補者の選定を行わず、再公募するものとする。
- ・提案者が1社のみの場合も評価点が600点を満たした場合は受託予定者として特定する。